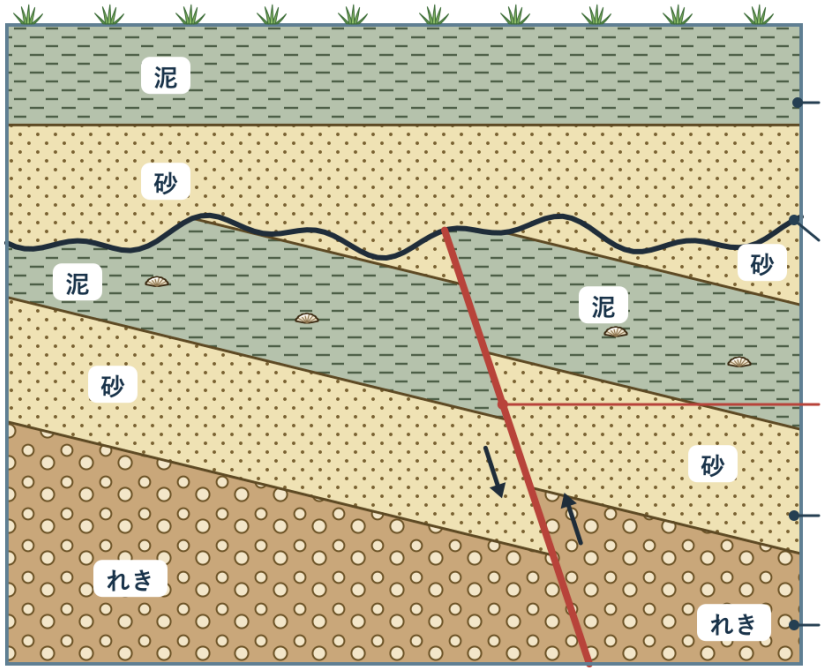
地層の断面から起こった順番を読み解く

傾いた地層・断層・水平な地層が見られる崖では、どの順に出来事が起こったのだろう

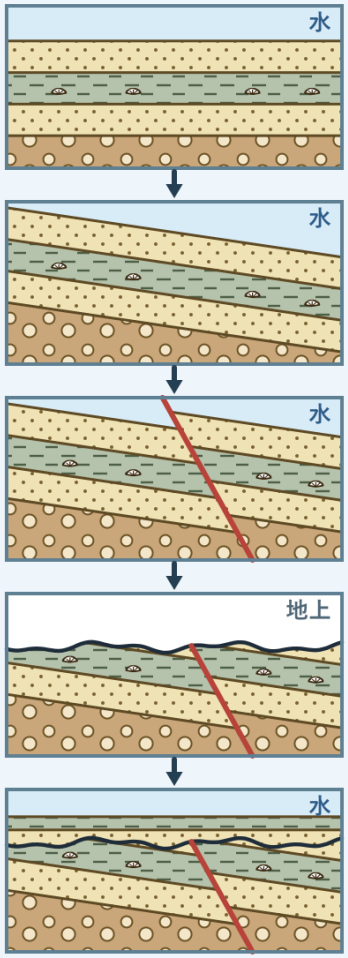
崖の断面：今、見えている地層



読み解く手がかり

- 下の層ほど古い（ふつうに重なった地層では）。れき→砂→泥→砂の順に積もった。
- 地層はふつう水平に積もる。傾きは、積もった後に力を受けた跡（②は①より後）。
- 断層が切っている層は、断層より前にできた（③は①より後）。
- けずられた面は、傾いた層と断層をまとめて切っている（④は②③より後）。
- 水平な層は、けずられた面にのり、断層に切られていない（⑤は④より後）。
- 泥の層の貝の化石は、その層が水の中で積もった手がかり。

起こった順に戻してみる（① → ⑤）



1 積もる
水の中で、れき・砂・泥・砂の順に積もる。

2 傾く
大きな力を受けて、地層全体が傾く。

3 断層ができる
さらに力を受けて割れ、割れ目に沿ってずれる。

4 けずられる
地上に出て、上の面が雨水や川でけずられる。

5 再び積もる
また水の中に沈み、その上に水平な層が積もる。

※ 模式図。厚さ・傾き・ずれは誇張した。②と③の前後は決めきれないこともある。⑤の後に土地が持ち上がり、今の崖になった。